

令和7年度
香川県畜産研究談話会

オリーブ地鶏生産システム強化対策試験

香川県畜産試験場 中小家畜研究課 養鶏担当

研究の背景（オリーブ地鶏とは）



肉用讃岐コーチン

瀬戸赤どり

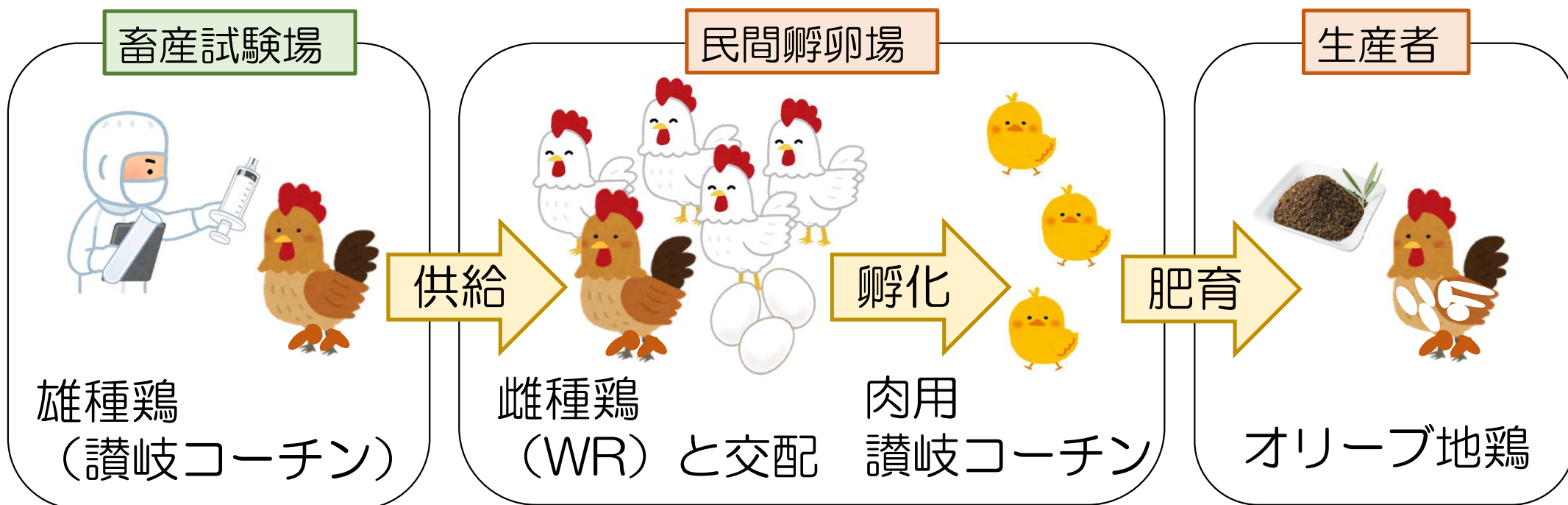


オリーブ飼料添加給与



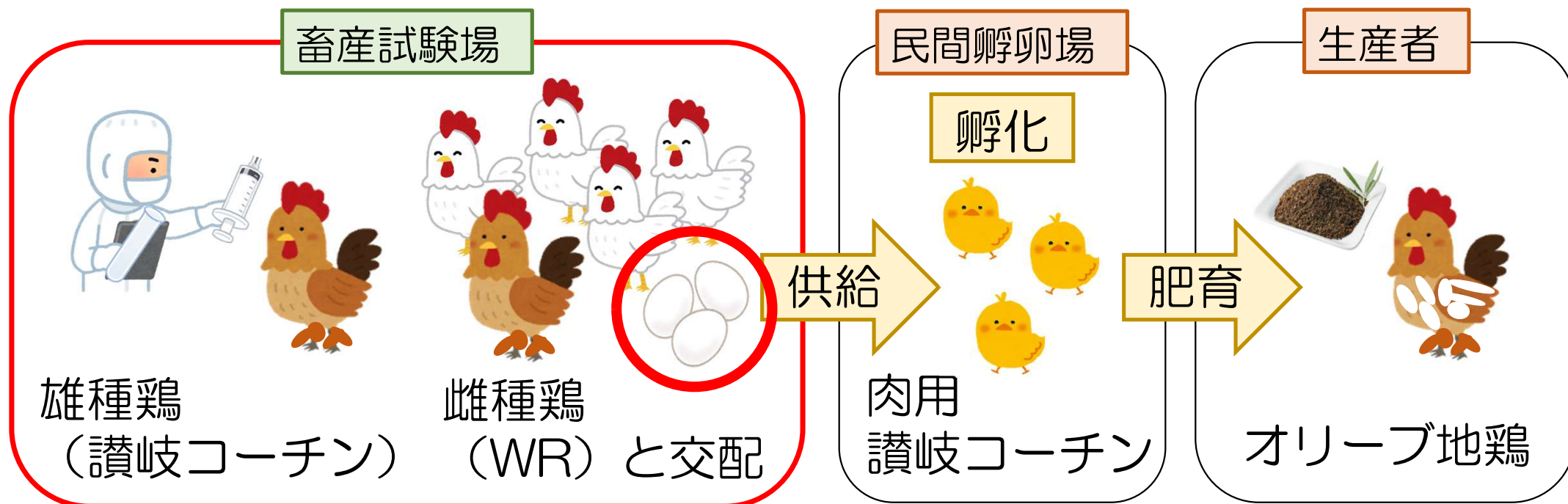
オリーブ地鶏

研究の背景（肉用讃岐コーチンによるオリーブ地鶏生産の現状）



畜産試験場から雄種鶏（讃岐コーチン）を供給
民間孵卵場で雌種鶏（WR）と交配し種卵採取

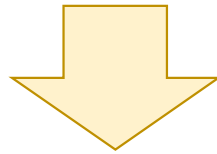
研究の背景（肉用讃岐コーチン種卵を供給する場合）



畜産試験場で採取した種卵を民間孵卵場に供給

研究の目的

アニマルウェルフェアを考慮し、なおかつ、
効率的に種卵を採取できる飼育管理が必要なことから、
新しい飼育管理方法として「種鶏ケージ」を導入



効率的に種卵を採取できる
「種鶏ケージ」内の飼育羽数を調査

研究計画

オリーブ地鶏生産システム強化対策試験

■実施期間 令和5年度～令和6年度

■供試鶏 讃岐コーチンの雄 12羽
ホワイロック（WR）の雌 60羽

■試験区

飼育羽数			ケージ
讃岐コーチンの雄 1 羽、WRの雌 4 羽	計 5 羽		4 枠
讃岐コーチンの雄 1 羽、WRの雌 5 羽	計 6 羽		4 枠
讃岐コーチンの雄 1 羽、WRの雌 6 羽	計 7 羽		4 枠

研究計画

■試験項目

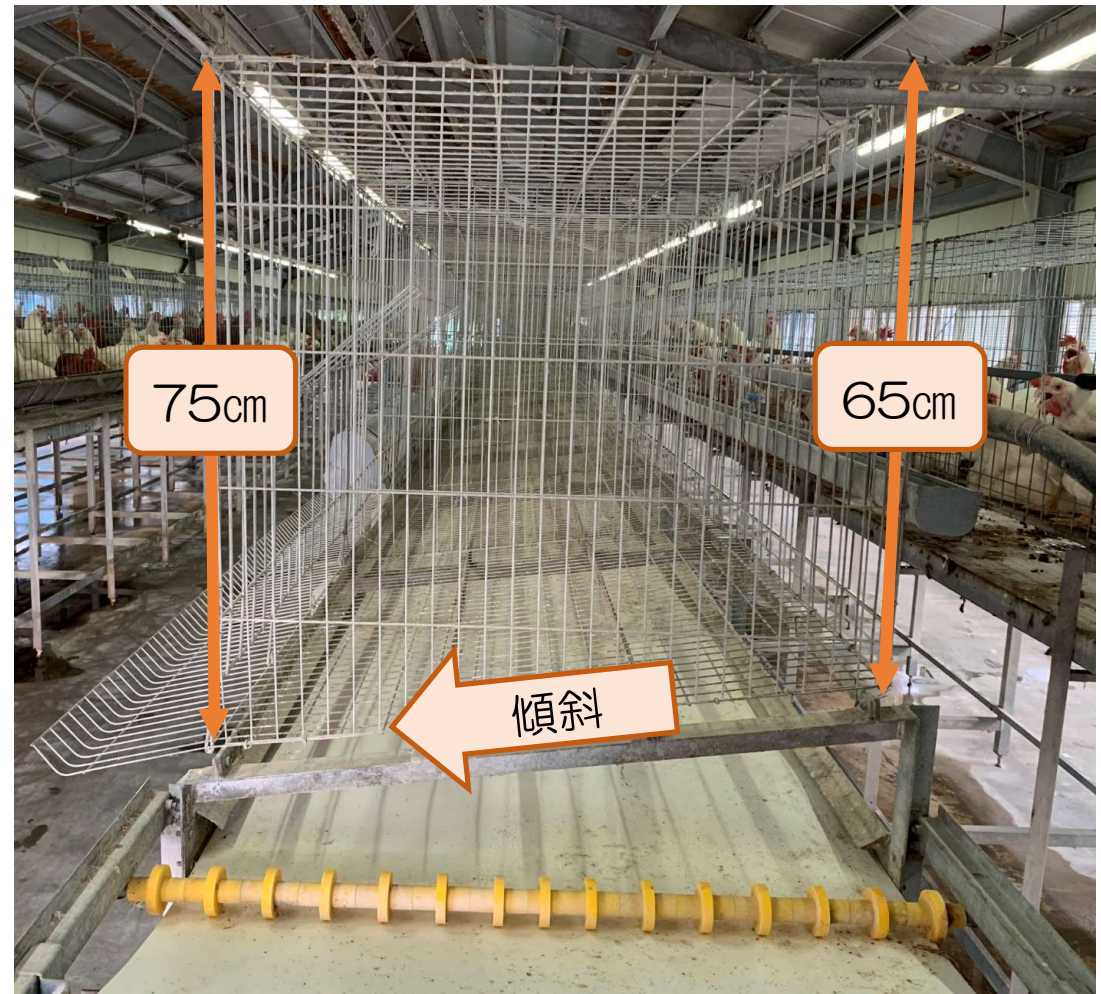
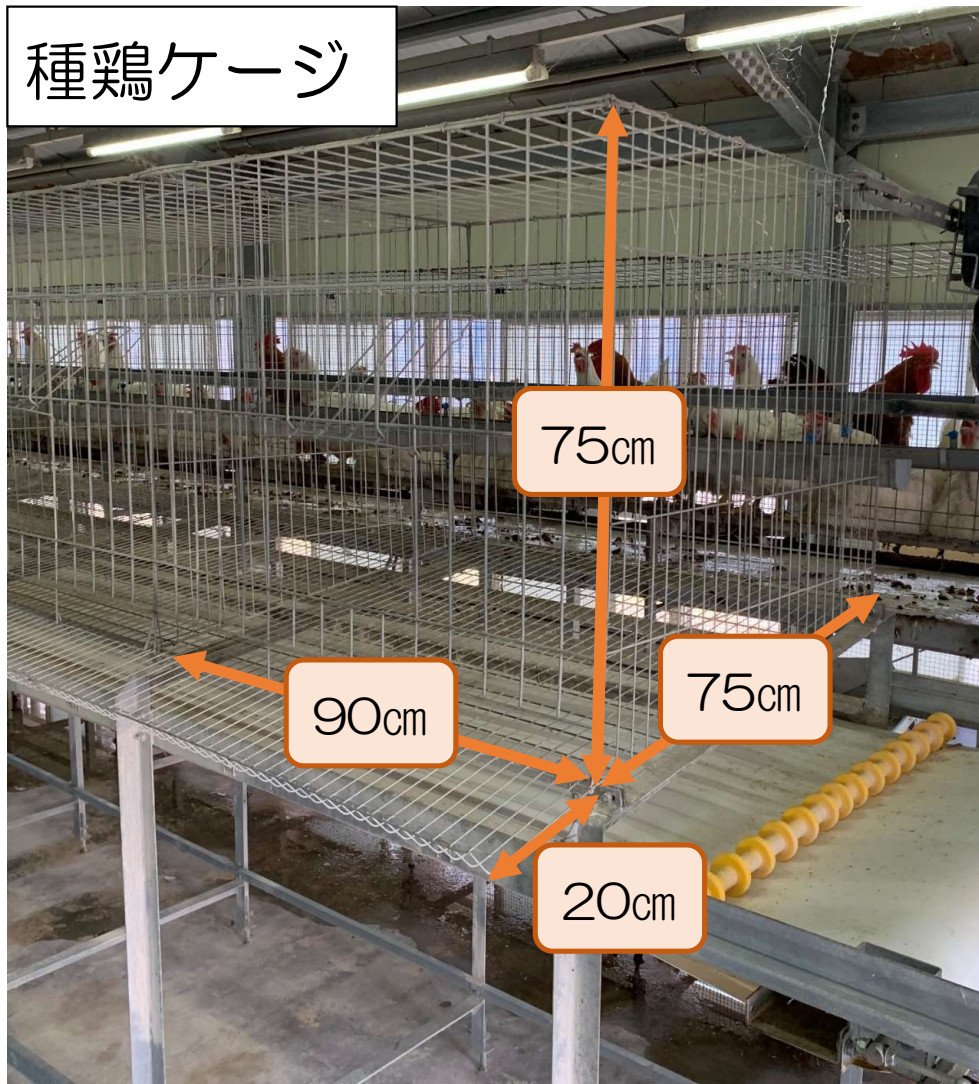
採卵開始日齢、50%採卵日齢、
採卵率、ピーク採卵率、平均卵重、採卵個数、受精率

■方法

20週齢～72週齢にかけて、毎日の採卵個数等を記録
各試験区の種卵を孵卵機に入れて受精率を調査

研究計画

種鶏ケージ



研究計画

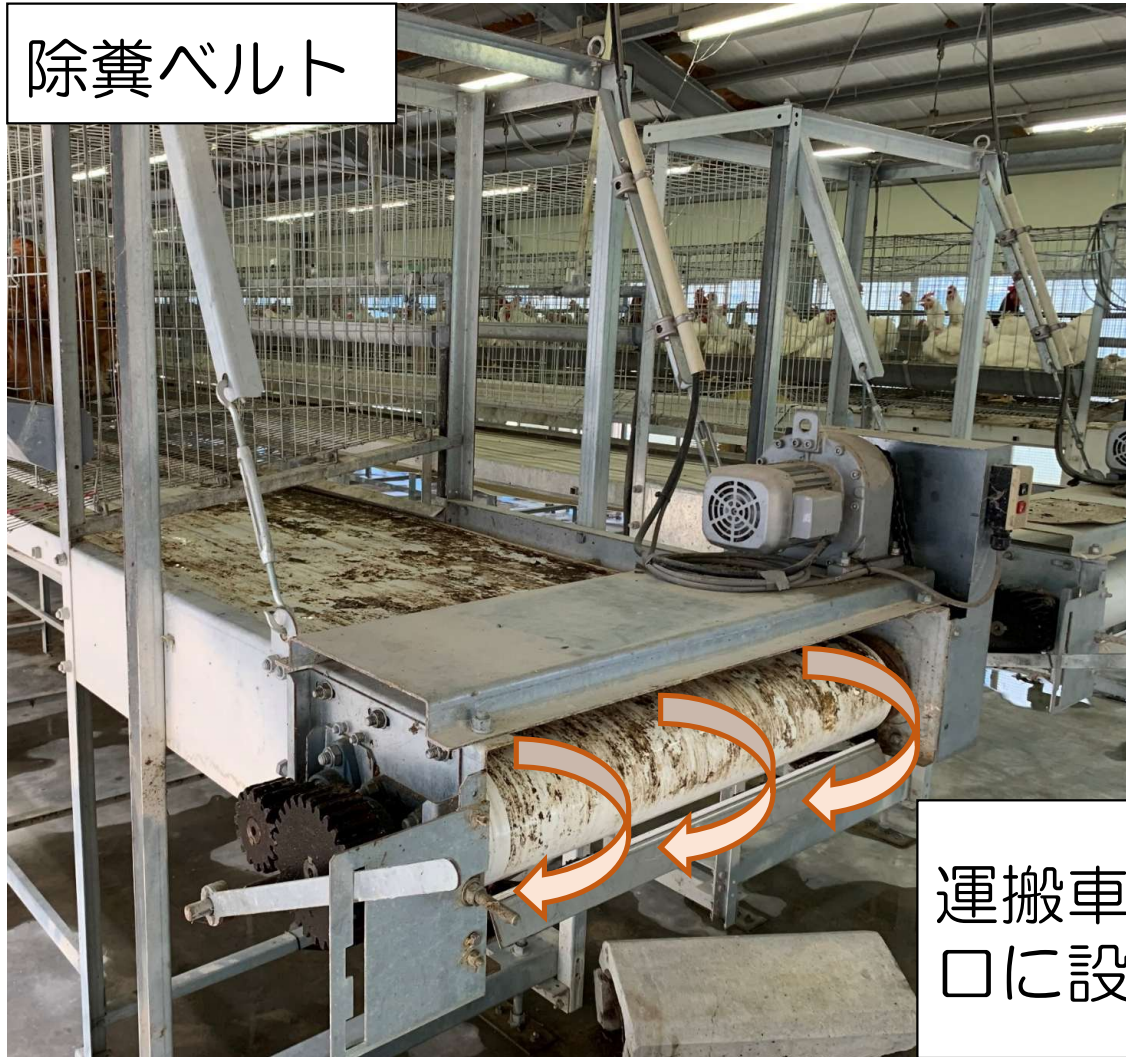
飼育風景



鶏は、卵受け部分に転がってきた卵をつついて割ることはできない。

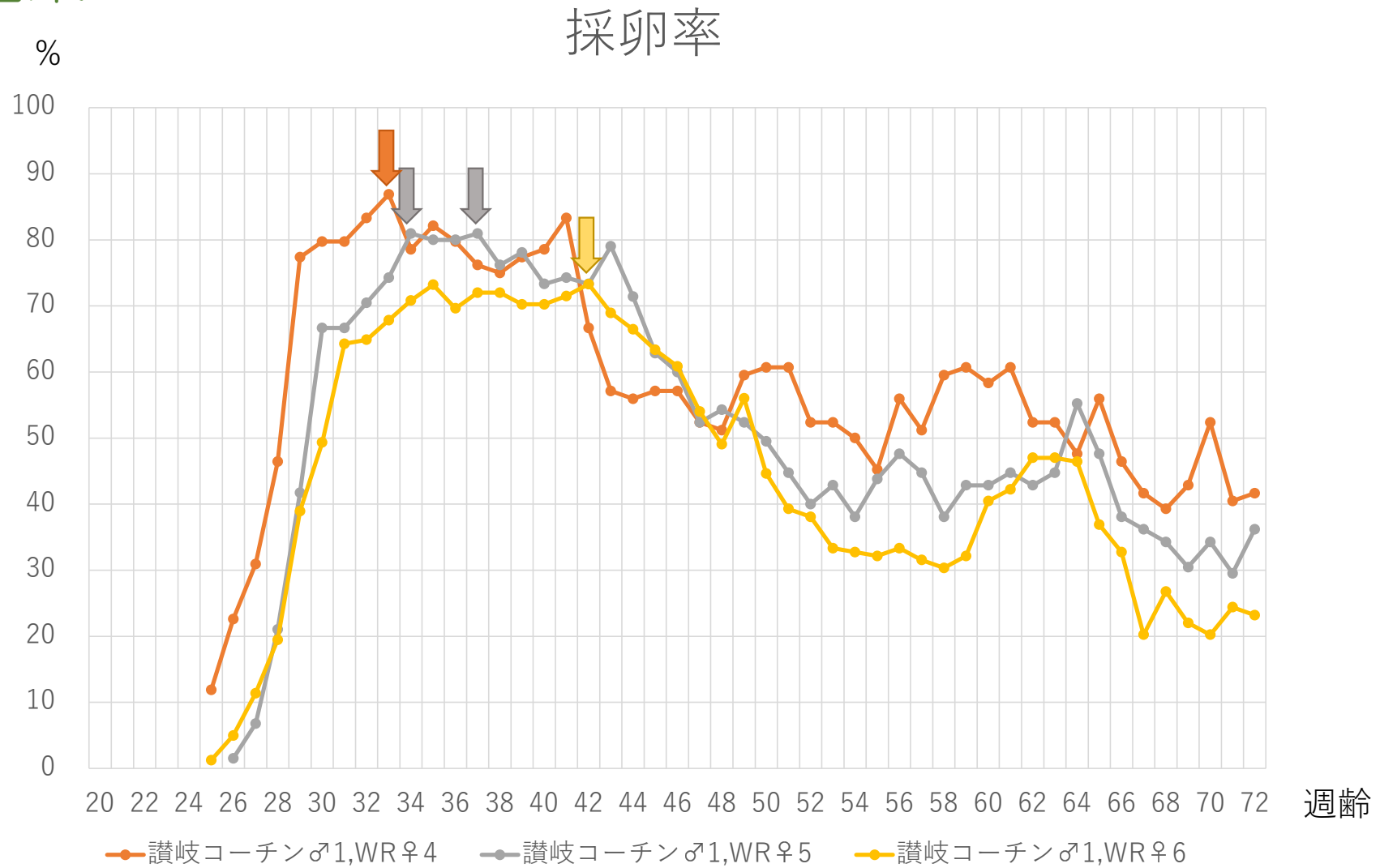
研究計画

除糞ベルト



運搬車を排せつ物落とし口に設置して除糞する。

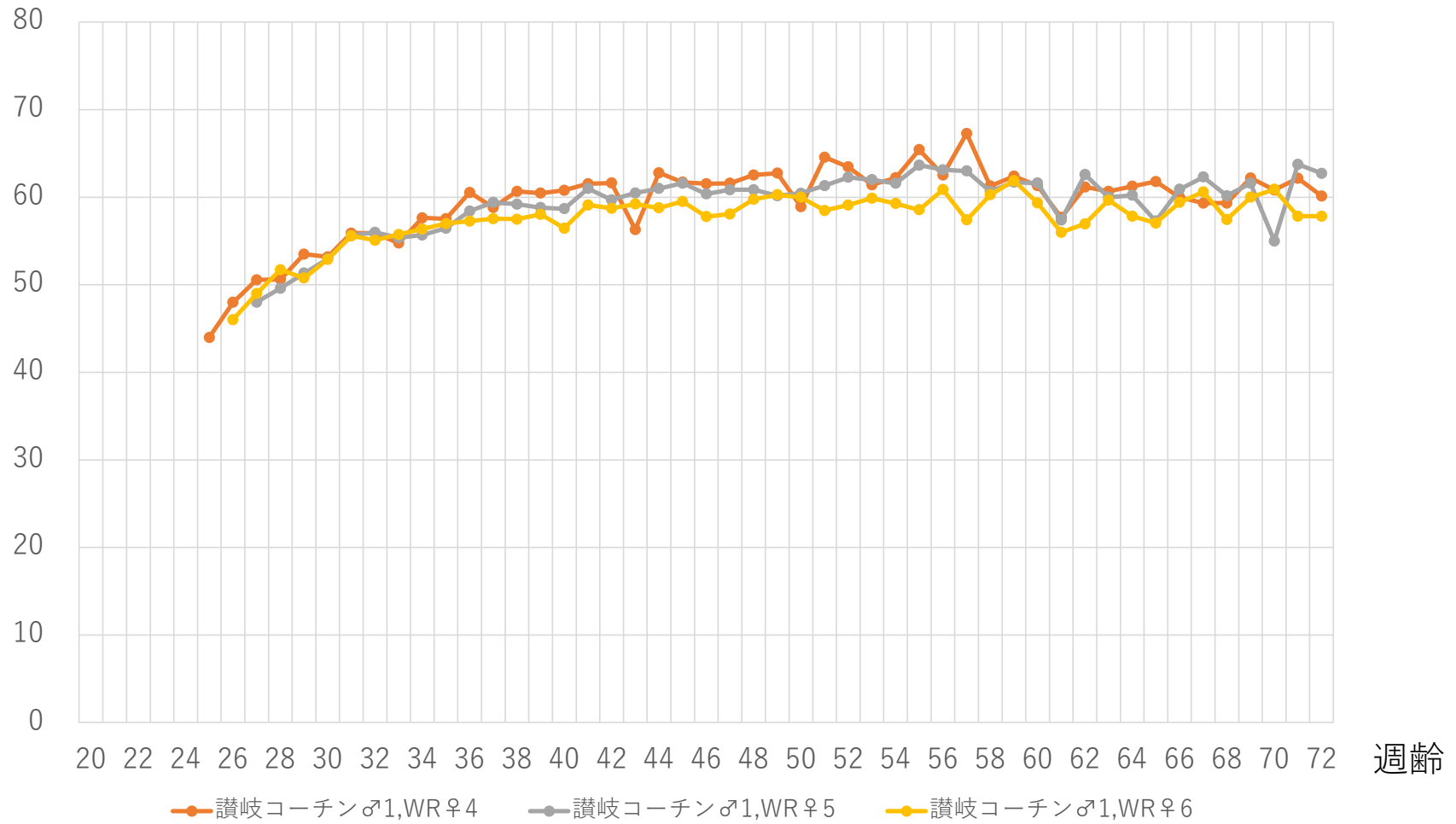
研究結果



研究結果

平均卵重

g/個



研究結果

採卵個数（各試験区 4 枠分）

個/週

140

120

100

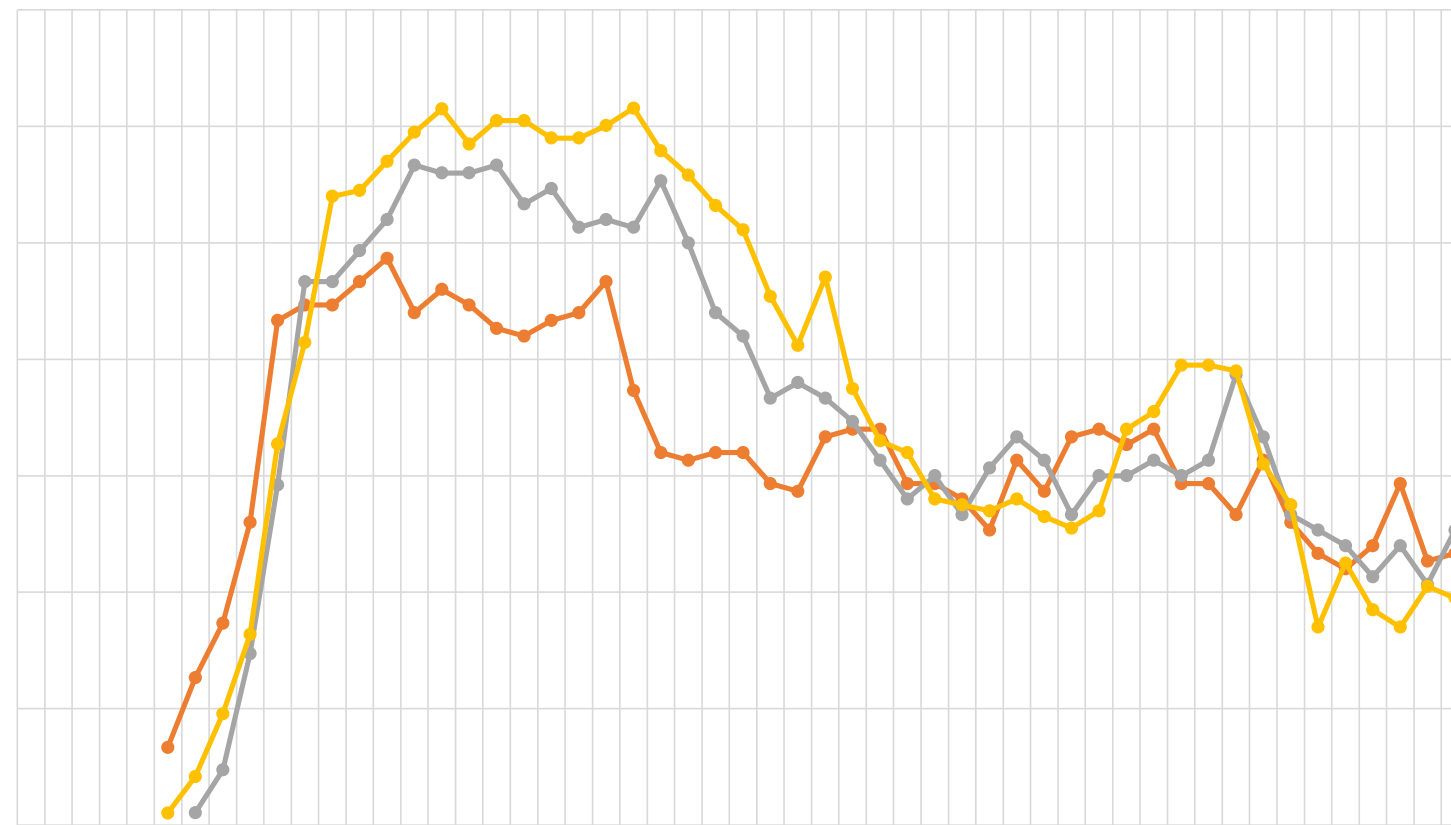
80

60

40

20

0



讃岐コーチン♂1, WR♀4

讃岐コーチン♂1, WR♀5

讃岐コーチン♂1, WR♀6

週齡

研究結果

孵卵成績

1 枠 当たりの WR 飼育羽数 (羽)	孵卵機に 入れた卵 (個) ①	無精卵 (個) ②	有精卵 (個) ① − ②	受精率 対入卵 個数 (%) $(① - ②) / ①$
4	54	8	46	85.2
5	67	11	56	83.6
6	71	9	62	87.3

研究結果

結果まとめ

1 枠 当たりの WR 飼育羽数 (羽)	採卵 開始 日齢 (日齢) ※	50% 採卵 日齢 (日齢)	20～72週齢の成績				受精率 対入卵 個数 (%)
			採卵率 (%) ※	ピーク 採卵率 (%)	平均 卵重 (g)	1 枠当 たりの 採卵個 数(個)	
4	169 ^a	191	51.7 ^a	86.9	59.6	767	85.2
5	181 ^b	207	43.9 ^b	81.0	59.2	814	83.6
6	177 ^{ab}	207	40.9 ^b	73.3	57.8	910	87.3

※異符号間に有意差あり (p<0.05)

まとめ

■効率的に種卵を採取できる飼育管理

本試験区の中では、種卵を最も効率的に採取できる飼育管理は雄種鶏の讃岐コーチン1羽と雌種鶏のWR4羽飼育の枠であった。

■受精率

飼育羽数の違いで受精率に大きな差はなかった。

■種卵個数の調整

民間孵卵場が必要とする種卵個数に応じて、雌種鶏のWR飼育羽数を変更（4～6羽）し種卵個数の調整が可能である。

⇒ オリーブ地鶏生産羽数の調整が可能

